

● 意見交換会の要旨(北区(植木公民館多目的ホール) 令和5年7月25日(火)開催分)

質問・意見	回答
<p>⑤(資源物の持ち去りについて) 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和13年度のリサイクル目標値達成のためには、持ち去り行為者の逮捕、検挙に加え、買取業者への指導を徹底する必要がある。持ち去り行為の取り締まりパトロールを行っていると思うが、人員が非常に少ないのではないか。 ・持ち去り行為を見かけた際はごみゼロコールへ連絡しているが、矢継ぎ早に質問されるので慣れていない一般の人は答えられない。 ・持ち去り行為を通報して、その後どうなったのか、回答をするべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条例改正後、持ち去り行為対策を強化し、パトロールは4名から8名体制にしている。買取業者への取り締まりについても条例改正した際に禁止行為にした。その効果として、資源物収集量は年間7,000トン増加し、持ち去り行為者も300名から130名程度に減少している。 ・通報時は丁寧な対応を心がけていく。 ・持ち去り行為者と直接接触するのは危険なので、見かけた際は熊本市公式LINEによる通報等を引き続きお願いしたい。 ・県警から職員派遣とパトロールも県警OBが行っており、県警と連携しながら対応している。 ・これまでに累計で11名逮捕している。
<p>⑥(開催の目的やアンケートの仕方などについて) 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの属性、若者の回答率が低い、どれだけの方に実施してどれだけの方から回答されたかの回答率は出ているのか。 ・北区だけ意見交換会が2回開催したのはなぜか。 ・何を根拠に課題と捉えるかを明らかにしないと解決しない。(分別して1カ所に集めることが課題ではなく、違反者が持ち込むことが課題。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・236人回答いただいた方を年代別に分けたもの。 ・市の公式LINEで行ったのは若年層に回答いただけののではないかと期待して活用したが、回答率は低かった。あくまでも傾向をつかむために実施したもの。 ・市から用紙を配付しての回答ではないため、年代別の回答率は出せない。 ・北区は面積も広いので2回開催した。 <p>(要望)</p>
<p>⑦(ごみ減量・リサイクルに向けた取組について)1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量に向けて、今後、市として地域住民にどのように周知して協力を求めていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化については、年2回燃やすごみの中に何が入っているのかの分析調査をしている。その中には資源化できる物が15%程度、食品ロスが10~20%程度あるので、さらに分別ルールを守って発生抑制するための啓発、食品ロス削減の呼びかけを行うことでごみの処理量を減らしていきたい。 ・食品ロスについては、エコレシピなどをYouTube等も活用して周知している。 ・分別の徹底についても、SNS等も活用しながら呼びかけをしていく。
<p>⑧(高齢者対策・ふれあい収集について) 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方が今後増えるので、曜日違いに出したりすることも増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定されている方等のごみ出し困難世帯は、市の職員が個別に収集に伺う「ふれあい収集」という制度があるので活用いただきたい。

質問・意見	回答
<p>⑨(植木地区のごみ処理について) 5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務組合関連で、熊本市域との違いがあれば状況を教えてください。 ・旧植木町の資源ごみの収集品目の種類は、今後どのようになっているのか。 ・白色トレイとプラを分けて出しているが、最終的に一緒に処分されるのであれば、家庭で分別する必要はない。分別の種類は簡素化して少ない方が良い。合併前は最終処分の仕方が違ったから分けていたが、リサイクルプラザは閉鎖しているので分ける必要はなくなっている。パッカー車に積む時に一緒に積むなら各家庭で分別させる必要はないのか。分ける必要はないのであれば早急に取り組んでほしい。 ・熊本市内から植木町に転居されてきた方から苦情が出た。同じ熊本市なのに(資源物の)立ち番もあり、旧植木町は分別が面倒だという住民の意見もある。熊本市と旧植木町のルールを統一してほしい。分別して出しても一緒に持っていくのであればなおさら統一してほしい。 ・北区役所で日曜日に資源物収集しているが、旧植木町の時から地域でリサイクル日を決めて回収していた。今は、地域外から持ち込まれているがどのように対策しているのか。また、いつまでに市の分別ルールと統一されるのか、数年先延ばしになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山鹿植木広域行政事務組合との関連は、焼却施設がなくなったり、リサイクルプラザが閉鎖されて処理施設機能は変化しているが、事務組合との関係に変化はない。 ・本日は、現在のルールについて意見を伺うもので、何かを変えることを理解していただくものではない。 ・すぐに熊本市域と同じように植木地区を一緒にするという事ではない。 <p>◆比較表を用いて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市域では白色トレイはプラスチック製容器包装のひとまとめにして、回収している。 ・以前は植木地区の分は、広域のリサイクルプラザ(令和4年3月閉鎖)で別に処理していたが、現在は、熊本市域も旧植木町も最終処理は同じ。 ・植木地域のごみ出しのやり方は、これまでの歴史もあるので、地域の方々のご意見を踏まえて検討していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、現状についての意見を伺っている。何かを変える際は、別の課題として、改めて意見を伺う機会を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・植木地域外からの方が北区役所にごみを持ち込んでいることは課題と認識している。 ・日曜日収集の変更については、もう少し時間をいただきたい。
<p>⑩(自治会加入・未加入について) 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(自治会未加入の方が)自治会ごみステーションにごみを出すのは良いが清掃はしてくださいと言うと、清掃だけして自治会には加入しない。自治会への未加入者への対応、市として何らかの対策・対応できないのか、どう考えるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入は任意なので強制ではないが、市としても加入してほしいと考えている。 ・全国的にも7~8割の自治会が未加入者への対応が課題としている。 ・自治会未加入者にも清掃をしていただくことは良いことだが、(自治会未加入は)ごみステーション管理の困りごとの1つと考えている。 ・ごみステーションの清掃、違反ごみの再分別が自治会の負担になっていると考えているので検討していく。 ・自治会制度をどのように維持していくかは市の大きな課題であり、所管部署と一緒に市全体で考えていく必要がある。 ・大阪高裁で自治会がごみ出しを断った対応の違法性について判例が出ているが、自治会未加入者のごみ出しについては今後も研究していく。
<p>⑪(熊本市のごみ量・リサイクルについて) 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は家庭ごみの処理量が減り、資源ごみリサイクル率が高いのは熊本地震の影響か、どう分析しているか教えてください。避難所から出るごみも含めないと正しい数字が出ないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ処理量のH28年度が減ったのは、熊本地震の影響。ごみの量が減ると分母が減り、リサイクル率が高くなる。 ・この数字は、家庭からだけのごみ量であり、避難所から出るごみ量は含まれない。避難所運営補助金の対象になるため別カウントとしている。

●意見交換会で配布したアンケート用紙に記載していただいた質問・意見等

質問・意見	回答
<p>⑦(ごみ減量・リサイクルに向けた取組について) 1件</p> <p>・地域のコミュニティー作りは情報の共有や啓発活動で、家庭ごみ収集等で役立つと思われる。</p>	<p>・貴重なご意見感謝する。今後の参考にさせていただきたい。</p>
<p>⑨(植木地区のごみ処理について) 1件</p> <p>・熊本市として共通の分別ルールを決め統一してほしい。</p>	<p>・植木地域のごみ出しのやり方は、これまでの歴史もあるので、地域の方々のご意見を踏まえて検討していく。</p>